

地域の子どもは地域で育む！

活動の名称 サマー・ウィンタースクール

団体等の名称 総合型地域スポーツクラブ「とまこまい・あそび塾」

活動に含まれる（連携している）団体等

幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校
児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所
病院・保健所 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
行政（教育委員会） 行政（保健・福祉部局） 行政（その他の部局）
その他（ ）

活動の概要

活動の目的・趣旨

総合型地域スポーツクラブと北海道家庭教育サポート企業である島崎建設株式会社を中心に、教育委員会や学校、地元の企業や保護者が連携し、子どもたちの望ましい生活習慣の定着を図る事業を実施するとともに、地域の子育て環境づくりを促進する。

主な活動内容

長期休業中の3日間程度、地域の小学校を主な会場として、次のプログラムを組み合わせた体験事業を実施している。

「学習プログラム」～学習習慣の定着を図る

クラブ関係者や地域住民、時には大学生のボランティアが、子どもたちの宿題や自主学習（自由研究や作品づくりを含む）をサポートしている。

「運動プログラム」～健康増進や運動能力の向上、日頃の運動習慣の定着を図る

総合型地域スポーツクラブの特性を活かして、子どもたちが相互に交流し、楽しみながら参加できるニュースポーツの体験機会を設けている。

「社会体験活動プログラム」～子どもたちの社会性を育む

地域の浴場組合の協力のもと、銭湯におけるマナーを学ぶ「浴育（よくいく）事業」や、体験活動の会場まで、子どもたちが自力で公共交通機関を使い移動する体験などを取り入れている。

活動の成果と今後の展望

子どもたちは、日常と異なる環境で学習や運動に楽しみながら参加し、互いに刺激しあうことにより、生活リズムを整えることについての意識が高まっている。また、毎年、地域住民を対象としてアンケートを実施し、事業改善に努めていることから、住民の事業に対する認知度が高まり、地域企業や保護者などの連携・協力の輪が広がるなど、地域の恒例行事として定着している。

今後は、主な会場となる小学校を年度ごとに変更するなどして、より多くの子どもたちに体験機会を提供し、市全体に取組を広げるよう努める。





2009年(平成21年)3月28日(土)
 苫小牧民報

2014年(平成26年)8月7日(木)
 苫小牧民報

島崎建設

道教委と協定締結



家庭教育サポート企業等制度

苫小牧 道教委が推進する家庭教育サポート企業等制度で二十八日、苫小牧市沼ノ端の島崎建設(島崎鶴松社長)が道教委と協定を締結した。(高橋昭博)

同制度は、家庭教育に協力してもらう。育を支援するための企業側では「職場の職場環境づくり」に「子育て環境づくり」の組み合わせと道教委「職場見学や職場体験の実施」「地域行事への協力・支援」の一学校行事への参加促進、「生活リズム向上」などの取り組みを想定し、家庭教育の推進に努める。

地域スポーツ育成支援へ

また、協定締結に定書を締結。島崎社、道教委の支援は「協定締結企業等」ができるからではないが、普段通りに取り組むのホームベジ活動「家庭教育サポート」を通しながら、地域に密着した活動にしていきたい。道野「締結企業が役員、教育局長も「企業協会のための講師派遣」を話した。今後、力強い。今後はサポートの輪を広げていきたい」と協力の協力・支援に感謝していた。

掲げており、沼ノ端地区での後発地域スポーツクラブの育成支援などに取り組む。

この日は苫野澄胆、教育局長が同社を訪れ、島崎社長と協

マナー学んで楽しむ

地域の小中学生に銭湯体験

富美の湯

苫小牧市沼ノ端の公衆浴場、富美の湯は、とに沼ノ端地区の小学生、中学生、高校生、大学生、社会人を対象に、銭湯体験を実施した。小中学生30人、高校生4人、大学生10人、社会人10人が参加した。沼ノ端地区の小学生、中学生、高校生、大学生、社会人は、銭湯体験を通して、マナーを学んで楽しむ。沼ノ端地区の小学生、中学生、高校生、大学生、社会人は、銭湯体験を通して、マナーを学んで楽しむ。

加藤瑞穂君(沼ノ端中3年)は「風呂が広かったので、快適に過ごせた。良い思い出になった。中澤新一代

表は「修学旅行や遠征など団体を沼ノ端地区に招き入れる時にマナーを学んでほしい」と期待した。

銭湯体験を終え、整列してあいさつする沼ノ端上少年団員

